



平成 27 年度

私立学校初任者研修九州地区研修会 実施案内

主催 一般財団法人日本私学教育研究所
後援 日本私立中学高等学校連合会
九州地区私立中学高等学校協議会
実施 長崎県私立中学高等学校協会



研修のねらい

新規採用教員に対して私立学校教員としての心構えを体得させるとともに実践的指導力の育成を図る。

会 期 平成27年7月6日（月）～7月8日（水）の3日間（合宿研修）

会 場 ホテル矢太楼 〒850-0803 長崎市風頭町2-1 TEL 095-828-1111

参加対象者・定員 九州地区（福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄）各県の私立中学校・高等学校・中等教育学校に新たに採用された教員（経験者でも可）及びそれに準ずる教員 150名

基本日程

第1日目 7月6日 (月)	13:00		13:40		14:00		15:10		15:25		17:00		18:30									
	受付	開会式	研修1 私学教育の現状と課題		研修2 私学教師としての心構え		諸連絡	夕食	自主学習													
第2日目 7月7日 (火)	7:00		8:40		10:10		10:30		12:10		13:10		14:40		15:00		16:40		18:00		21:00	
	朝食	諸連絡	研修3 効果的な学習指導		研修4 グループ討議		昼食	研修5 生徒理解と生徒指導		研修6 グループ討議		移動	交流会 (夕食兼)	自主学習								
第3日目 7月8日 (水)	7:00		8:40		9:40		9:55		11:00		11:30		12:00									
	朝食	諸連絡	研修7 グループ討議発表		研修8 危機に直面する子どもたち		研修のまとめ		閉会式	解散												

※ 閉会式にて修了証をお渡しいたします。
※ 運営上の都合で一部日程が変更になる場合もありますので、あらかじめご承知おきください。

研修内容・講師・指導員等

- 研修1** 演題：私学教育の現状と課題
講師：中川 武夫（一般財団法人日本私学教育研究所 所長）
- 研修2** 演題：私学教師としての心構え
講師：藤原 善行（佐世保実業学園 学園長）
- 研修3** 演題：効果的な学習指導
講師：菰田 清（長崎県立諫早高等学校 教諭）
- 研修5** 演題：生徒理解と生徒指導
講師：岩永 光弘（創成館高等学校 教諭）
- 研修8** 演題：危機に直面する子どもたち ー子どもたちの心に耳を傾けてー
講師：浦川 末子（長崎女子短期大学 学長）

研修4・6 グループ討議

指導員：武川	真一郎	(海星中学・高等学校 教頭)
指導員：岡島	正己	(瓊浦高等学校 教頭)
指導員：玉城	雄一	(純心中学・純心女子高等学校 教頭)
指導員：諸泉	龍	(青雲中学・高等学校 教頭)
指導員：川崎	健	(鎮西学院高等学校 教頭)
指導員：梅本	博	(長崎日本大学中学・高等学校 教頭)
指導員：野里	順一	(創成館高等学校 教頭)

研修7 グループ討議発表

参加申込方法

- ① 参加申込書は、**各県私学協会**へ郵送してください。
 - ・送付先は、次頁の「参加申込書送付先一覧」をご参照ください。
 - ・参加申込書は、一人1枚ご記入ください。複数のご参加の場合はコピーをしてください。
 - ・参加申込書の記載事項については、**本研修以外の目的で利用することはありません。**
 - ・締切日 平成27年5月29日(金)
- ② 事前レポートは、別紙「グループ討議用事前レポート」を参照し、Eメールで送信してください。
 - ・提出先は、各県私学協会です。(次頁、メールアドレス参照)
 - ・締切日 平成27年5月29日(金)
 - ・各県私学協会は、レポートをとりまとめ、長崎県私立中学高等学校協会宛に、6月5日(金)までにメールで送信してください。
- ③ 参加確認証および指定払込票を、**学校長宛**にご送付いたしますので、**参加費を日本私学教育研究所に、送金(振り込み)してください。**
 - ・参加費 36,000円 [参加会費、宿泊費(2泊)・合宿中(標記日程中)の食事代を含む] (1人当たり)
 - ・指定払込票の「払込金受領証」をもって領収書に代えさせていただきます。
 - ・領収証が必要な場合には、別途発行いたしますので、下記「初任者研修係」までご連絡ください。
 - ・研修会に不参加の場合、いったん納入された参加費用は、全額返金できないことがあります。
また、返金の清算は、研修会終了後となりますので、あらかじめご承知おきください。

宿泊について

「ホテル矢太楼」にて2泊の合宿研修とします。

宿泊についての手配は担当事務局で行います。(他校参加者と相部屋になります)

参加に際しての注意

1. 参加確認証 参加確認証は**参加者本人**が持参して、研修会当日受付にご提示ください。万一お手元に届かない場合は、下記「初任者研修係」に電話で連絡のうえ、当日その旨を受付にお申し出ください。
2. 持参品 ノート、筆記用具、健康保険証、個人用医薬品等
3. 受講中の服装 講演・講義は、ご指導いただく先生方に失礼のない服装で受講してください。
4. 来場方法 JR長崎駅より直行バスを運行します。利用希望者は申込書にご記入ください。なお、定員に限りがありますので、希望者多数の場合はお断りすることがあります。
駐車場は完備しておりますが、自家用車を利用される方は、あらかじめ**学校長の許可**を受けてからご来場ください。
5. その他 初日の昼食は用意いたしておりませんので、済ませてからご来場ください。
本研修会の研修期間中、参加者等の傷害保険には主催者として加入しておりませんのでご承知おきください。

当日の受付について

13時00分～13時30分の間に受付にお越しいただき、参加確認証をご提示ください。

資料・ネームプレート等をお渡しします。ネームプレートは研修会終了時まで着用ください。

個人情報の取り扱い

当研究所では、研修会に参加される方の個人情報は厳重に管理・保護し、その取り扱いについては、法令その他の規範を尊重し、細心の注意を払っております。参加申込書にご記入いただいた個人情報は、「参加確認証」及び研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿作成、当研究所の各種研修会開催等のご案内の送付、また何らかの理由で研修会に参加される方に連絡を要する事態が生じた場合のみに利用いたします。

【問い合わせ先】

一般財団法人日本私学教育研究所 初任者研修係

高山博通 E-mail takayama@shigaku.or.jp

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-3-8 市ヶ谷UNビル6階

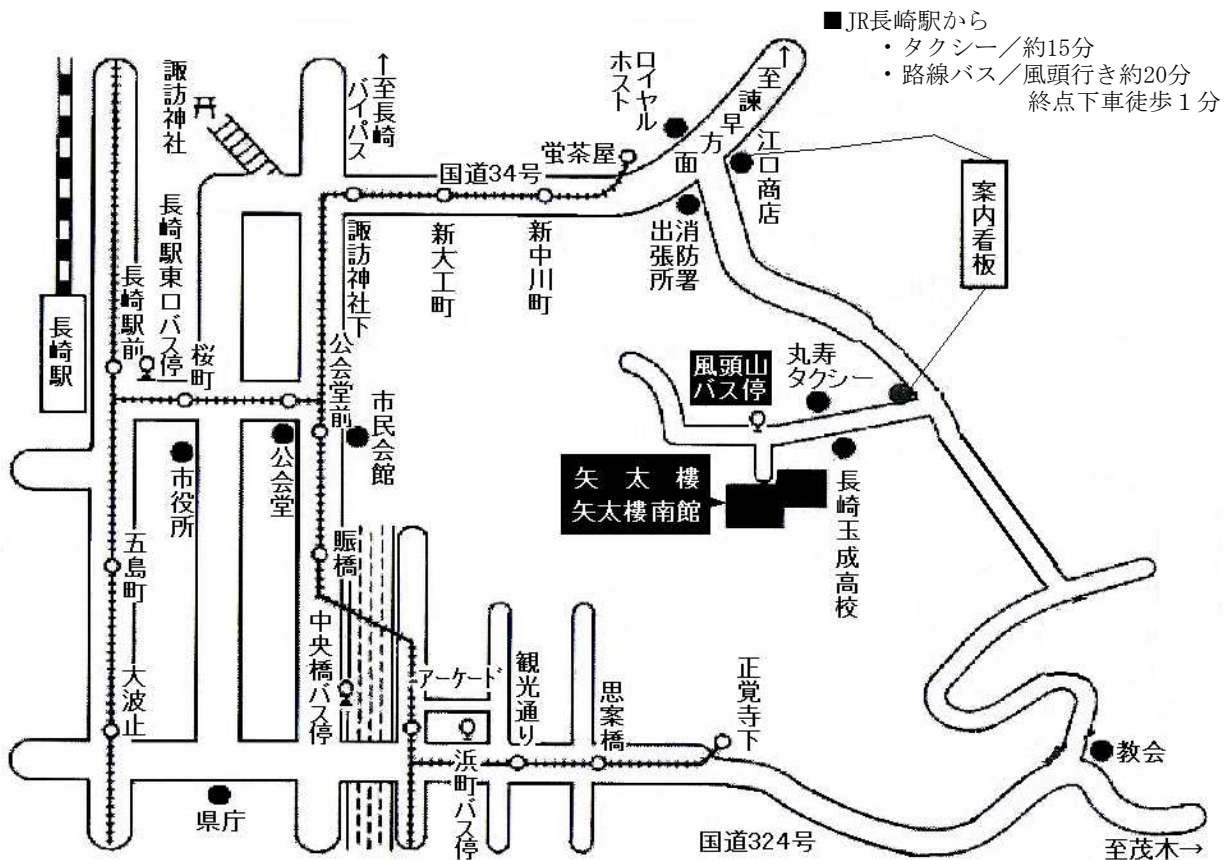
TEL 03-3222-1621 FAX 03-3222-1683

参加申込書送付先一覧

福岡県の学校	福岡県私学協会 kyoukai@f-sigaku.com	福岡市中央区天神4-8-15 福岡ガーデンパレス内 〒810-0001 TEL092-713-7281 FAX092-722-4925
佐賀県の学校	佐賀県私立中学高等学校協会 taisyokusaga@ag.wakwak.com	佐賀市兵庫北2-14-1 佐賀清和高等学校内 〒849-0919 TEL0952-37-9181 FAX0952-37-9191
長崎県の学校	長崎県私立中学高等学校協会 chuko@nagasaki-shigaku.jp	長崎市万才町6-35 三井生命長崎ビル3階 〒850-0033 TEL095-821-0211 FAX095-821-0296
熊本県の学校	熊本県私立中学高等学校協会 sigaku@galaxy.ocn.ne.jp	熊本市九品寺1-7-19 杉井ビル2階 〒862-0976 TEL096-372-5221 FAX096-372-5235
大分県の学校	大分県私立中学高等学校協会 oitachuko@eco.ocn.ne.jp	大分市大手町1-1-13 〒870-0022 TEL097-536-3709 FAX097-536-3719
宮崎県の学校	宮崎県私立中学高等学校協会 m-chuko@cmp-lab.jp	宮崎市瀬頭2-5-2 スカイライト301 〒880-0867 TEL0985-29-5288 FAX0985-23-1238
鹿児島県の学校	鹿児島県私立中学高等学校協会 shigaku@po5.synapse.ne.jp	鹿児島市与次郎2-6-6-201 アプローズ県庁前老番館 〒890-0062 TEL099-812-8778 FAX099-254-2562
沖縄県の学校	沖縄県私立中学高等学校協会 query@okisho.ed.jp	那覇市国場747 学校法人尚学学園内 〒902-0075 TEL098-832-1767 FAX098-834-2037

矢太楼案内図

〒850-0803 長崎市風頭町2-1 TEL 095-828-1111



各県私学協会へご送付ください。

【申込締切日：5月29日（金）】

平成27年度 私立学校初任者研修 九州地区研修会 参加申込書 [113-]

- ・太線枠内に必要事項を記入、または該当する事項に○印をしてください。
- ・※の項目は、実施要項の参加者名簿に記載します。他は研究所が統計上の記録・調査に使用します。
- ・申込は一人につき一枚の申込書を使用してください。同一校から複数でお申し込みの場合は、用紙をコピーしてご利用ください。

※都道府県名		※学校名	
学校所在地 〒			
		TEL	FAX
※参加者氏名 ふりがな		男・女 年齢()	緊急連絡先(自宅・携帯電話番号等連絡が取れるところ)
職名 ○で囲んでください 教諭・職員・講師(常勤・非常勤) その他()		※教科	担当科目 校務分掌(委員会)
教職経験の有無(職名を問わず) 現勤務校に(年・一年未満) それ以前に、(私立学校 年・公立 年)		教職以外の就業経験 有(年間) ・ 無	
現在のクラス担任 有(中・高 年生) ・ 無		現在担当のクラブ活動 有() ・ 無	
研修会会場への来場方法 1. 路線バス等公的交通機関 2. 自家用車 3. 直行バス希望			
メールアドレス: 当研究所からの研修会案内等のメール配信希望の方は、メールアドレスをご記入ください。(携帯電話のメールは不可)			
一般財団法人 日本私学教育研究所 御中		平成 27 年 月 日	
上記の通り申し込みます。		学校長氏名 ㊟	
【通信欄】			

- 参加費の送金について
- ・この申込書をお送りいただいた後、「参加確認証」と「指定払込票」を送付いたしますので、期限までに「指定払込票」を使って参加費の送金をお願いいたします。
- ・「指定払込票」の「払込金受領証」をもって領収書に代えさせていただきます。

事前レポートについて

研修④と⑥では、「効果的な学習指導」「生徒理解と生徒指導」についてのグループ討議を行います。グループ討議の資料とするため、次のテーマについてレポートを作成・提出してください。

1. 「効果的な学習指導」

学習の4段階は「理解」「暗記」「演習」「研究」である。教師は、よく「理解」させるためには予習の指示と分かる授業の工夫、次に理解したことをいかに「暗記(知識化)」させるかの工夫、そして、暗記の確認と応用力をつける「演習」の工夫が求められる。最後は大学での「研究」である。教科または個人の取組や工夫について、下記の3点すべてについて記載してください。

- ①学力(能力)の異なるクラスでの授業の工夫
 - ②学力(能力)の高い生徒たちへの指導の工夫、また、学力(能力)の低い生徒たちへの指導の工夫
 - ③学力(能力)向上のための学校全体、または、教科あるいは個人の取組や工夫
- (注)学力だけではない教科があるので、「学力(能力)」としています。

<講演講師について>

菰田 清(長崎県立諫早高等学校 教諭)

専門:数学

ノートを取らせず、予習を仮定せず、授業でわくわく感、興味を引き出させる独自の指導法を「先読みラーニング」と名付けて指導に取り組む。中学校まで遡って「理解」、全員で声をだしながら「暗記」、「立ち話学習(グループ学習)」を取り入れた考える授業によるコミュニケーション能力・表現力・論理力の強化、日々の課題で応用力を身につける「演習」など独自の指導法により、大幅な偏差値アップに貢献。

2. 「生徒理解と生徒指導」

高校生活を有意義に過ごす力と生きる力を育むためには、教師は生徒を理解し、生徒の意識を変え、パラダイム(物事の見方・捉え方)をプラスの方向に転換させる必要がある。学校全体または、個人の取組や工夫について、下記の3点すべてについて記載してください。

- ①入学後の指導や生徒理解、生徒の意識改革についての取組や工夫
- ②担任として(担任をした場合)の学級経営の工夫
- ③いじめや問題行動の防止策と発生後の指導の工夫

<講演講師について>

岩永 光弘(創成館高等学校 教諭)

専門:情報・工業

生徒の資格取得促進のため自らも20以上の資格を取得。2008年には「7つの習慣J」ファシリテーター資格を長崎県の高校教員として初めて取得し、生徒一人ひとりの力を引き出す教育に取り組む。自身が指導する生徒が3年間で2度の「チャレンジカップ全国グランプリ」を獲得し話題となる。中学生から一般までを対象に広く講演活動を行う。

・形式

書式設定 A4版縦白色紙1枚 横書き
文 字 10.5ポイント明朝、30字×20行×2段(各項目600字程度)
余 白 上下左右20mm程度

- ・提出されたレポートはそのまま資料として使用しますので、パソコンのワープロソフト(Word)にて作成してください。
- ・県名、学校名、氏名、担当教科・科目名を必ず記入してください。
- ・所属学校長の承認を得て、申込期限の平成27年5月29日(金)までに、各県私学協会のメールアドレスに添付して送信してください。

グループ討議用事前レポート

県名

学校名

氏名

担当教科名

担当科目名

【研修④】 効果的な学習指導について

(600字程度)

①学力(能力)の異なるクラスでの授業の工夫

②学力(能力)の高い生徒たちへの指導の工夫、また、学力(能力)の低い生徒たちへの指導の工夫

③学力(能力)向上のための学校全体、または、教科あるいは個人の取組や工夫

【研修⑥】 生徒理解と生徒指導について

(600字程度)

①入学後の指導や生徒理解、生徒の意識改革についての取組や工夫

②担任として(担任をした場合)の学級経営の工夫

③いじめや問題行動の防止策と発生後の指導の工夫